



ハードウェア モニタリング

- [ファブリック インターコネクットのモニタリング, 1 ページ](#)
- [ブレード サーバのモニタリング, 3 ページ](#)
- [ラックマウント サーバのモニタリング, 6 ページ](#)
- [IO モジュールのモニタリング, 9 ページ](#)
- [Crypto Card のモニタリング, 10 ページ](#)
- [NVMe PCIe SSD デバイスのモニタリング, 11 ページ](#)
- [ヘルス モニタリング, 13 ページ](#)
- [管理インターフェイス モニタリング ポリシー, 17 ページ](#)
- [ローカルストレージのモニタリング, 21 ページ](#)
- [グラフィックス カードのモニタリング, 25 ページ](#)
- [Transportable Flash Module と スーパーキャパシタの管理, 28 ページ](#)
- [TPM モニタリング, 31 ページ](#)

ファブリック インターコネクットのモニタリング

手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2** [Equipment] > [Fabric Interconnects] の順に展開します。
- ステップ 3** モニタするファブリック インターコネクットのノードをクリックします。
- ステップ 4** [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、ファブリック インターコネクットのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、ファブリック インターコネクット プロパティの概要、ファブリック インターコネクットとそのコンポーネントの物理表示など、ファブリック インターコネクットのステータスの概要が表示されます。
[Physical Ports] タブ	ファブリック インターコネクットのすべてのポートのステータスが表示されます。このタブには次のサブタブが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Uplink Ports] タブ • [Server Ports] タブ • [Fibre Channel Ports] タブ • [Unconfigured Ports] タブ
[Fans] タブ	ファブリック インターコネクットのすべてのファン モジュールのステータスが表示されます。
[PSUs] タブ	ファブリック インターコネクットのすべての電源モジュールのステータスが表示されます。
[Physical Display] タブ	ファブリック インターコネクットとすべてのポートおよびその他のコンポーネントがグラフィック表示されます。コンポーネントに障害がある場合、そのコンポーネントの横に障害アイコンが表示されます。
[FSM] タブ	タスクのステータスなど、サーバで実行されている現在の FSM タスクに関する詳細情報が表示されます。この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Faults] タブ	ファブリック インターコネクットで発生した障害の詳細が表示されます。
[Events] タブ	ファブリック インターコネクットで発生したイベントの詳細が表示されます。
[Neighbors] タブ	ファブリック インターコネクットの LAN、SAN、および LLDP ネイバーの詳細が表示されます。 (注) [Neighbors] の詳細を表示するには、[Info Policy] を有効にします。
[Statistics] タブ	ファブリック インターコネクットとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

ブレードサーバのモニタリング

手順

- ステップ1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
- ステップ3 モニタするサーバをクリックします。
- ステップ4 [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、サーバのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、サーバプロパティの概要、サーバとそのコンポーネントの物理表示など、サーバのステータスの概要が示されます。

オプション	説明
[Inventory] タブ	<p>サーバのコンポーネントのプロパティとステータスに関する詳細情報が次のサブタブに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Motherboard] : マザーボードとサーバ BIOS 設定に関する情報。このサブタブから、破損した BIOS ファームウェアを復旧させることもできます。 • [CIMC] : CIMC とそのファームウェアに関する情報。サーバの SEL にもアクセスできます。スタティックまたはプールされた管理 IP アドレスを割り当てて、このサブタブから CIMC ファームウェアを更新およびアクティブ化することもできます。 • [CPUs] : サーバの各 CPU に関する情報。 • [Memory] : サーバの各メモリ スロットと、スロットの DIMM に関する情報。 • [Adapters] : サーバに取り付けられた各アダプタに関する情報。 • [HBAs] : 各 HBA のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでの HBA の設定。 • [NICs] : 各 NIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでの NIC の設定。各行を展開すると、関連する VIF および vNIC に関する情報を表示できます。 • [iSCSI vNICs] : 各 iSCSI vNIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでのこの vNIC の設定。 • [Storage] : ストレージコントローラのプロパティ、サーバに関連付けられたサービスプロファイルでのローカルディスク設定ポリシー、サーバの各ハードディスクに関する情報。 <p>ヒント ハードディスク ドライブやソリッドステートドライブなどの SATA デバイスがサーバに 1 つ以上搭載されている場合、Cisco UCS Manager GUI の [Vendor] フィールドにはその SATA デバイスのベンダー名が表示されます。</p> <p>ただし Cisco UCS Manager CLI では、[Vendor] フィールドに ATA が表示され、ベンダー名などのベンダー情報は [Vendor Description] フィールドに表示されます。この 2 番目のフィールドは Cisco UCS Manager GUI にはありません。</p>
[Virtual Machines] タブ	<p>サーバでホストされている仮想マシンの詳細情報が表示されます。</p>
[Installed Firmware] タブ	<p>CIMC、アダプタ、その他のサーバ コンポーネントのファームウェアバージョンが表示されます。このタブを使用して、これらのコンポーネントのファームウェアをアップデートおよびアクティブ化することもできます。</p>

オプション	説明
[CIMC Sessions] タブ	サーバの CIMC セッションに関するデータを提供します。
[SEL Logs] タブ	サーバのシステム イベント ログが表示されます。
[VIF Paths] タブ	サーバでのアダプタの VIF パスが表示されます。
[Faults] タブ	サーバで発生した障害の概要が表示されます。任意の障害をクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[Events] タブ	サーバで発生したイベントの概要が表示されます。任意のイベントをクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[FSM] タブ	タスクのステータスなど、サーバで実行されている現在の FSM タスクに関する詳細情報が表示されます。この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Health] タブ	サーバとそのコンポーネントのヘルス ステータスに関する詳細が表示されます。
[Statistics] タブ	サーバとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Temperatures] タブ	サーバのコンポーネントの温度に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Power] タブ	サーバのコンポーネントの電力に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

ステップ 5 [Navigation] ペインで、`[Server_ID] > [Adapters] > [Adapter_ID]` の順に展開します。

ステップ 6 [Navigation] ペインで、次のアダプタのコンポーネントを 1 つ以上クリックしてナビゲータを開き、コンポーネントのステータスを表示します。

-
- DCE インターフェイス
- HBA
- NIC
- iSCSI vNIC

ヒント 子ノードを表示するには、テーブル内のノードを展開します。たとえば、[NIC] ノードを展開すると、その NIC で作成された各 VIF を表示できます。

ラックマウント サーバのモニタリング

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] の順に展開します。
- ステップ 3 モニタするサーバをクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインで次のタブのいずれかをクリックして、サーバのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、サーバプロパティの概要、サーバとそのコンポーネントの物理表示など、サーバのステータスの概要が示されます。

オプション	説明
[Inventory] タブ	<p>サーバのコンポーネントのプロパティとステータスに関する詳細情報が次のサブタブに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Motherboard] : マザーボードとサーバ BIOS 設定に関する情報。このサブタブから、破損した BIOS ファームウェアを復旧させることもできます。 • [CIMC] : CIMC とそのファームウェアに関する情報。サーバの SEL にもアクセスできます。スタティックまたはプールされた管理 IP アドレスを割り当てて、このサブタブから CIMC ファームウェアを更新およびアクティブ化することもできます。 • [CPU] : サーバの各 CPU に関する情報。 • [Memory] : サーバの各メモリ スロットと、スロットの DIMM に関する情報。 • [Adapters] : サーバに取り付けられた各アダプタに関する情報。 • [HBAs] : 各 HBA のプロパティと、サーバに関連付けられたサービス プロファイルでの HBA の設定。 • [NICs] : 各 NIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービス プロファイルでの NIC の設定。各行を展開すると、関連する VIF および vNIC に関する情報を表示できます。 • [iSCSI vNICs] : 各 iSCSI vNIC のプロパティと、サーバに関連付けられたサービス プロファイルでのこの vNIC の設定。 • [Storage] : ストレージコントローラのプロパティ、サーバに関連付けられたサービス プロファイルでのローカルディスク設定ポリシー、サーバの各ハードディスクに関する情報。 <p>(注) C シリーズ/S シリーズサーバのファームウェアを Cisco UCSM リリース 2.2(6) から 3.1(2) 以降のリリースにアップグレードした場合は、プラットフォームコントローラハブ (PCH) のストレージコントローラは (SSD ブートドライブとともに) UCSM GUI に表示されません。</p> <p>ヒント ハードディスク ドライブやソリッドステートドライブなどの SATA デバイスがサーバに1つ以上搭載されている場合、Cisco UCS Manager GUI の [Vendor] フィールドにはその SATA デバイスのベンダー名が表示されます。</p> <p>ただし Cisco UCS Manager CLI では、[Vendor] フィールドに ATA が表示され、ベンダー名などのベンダー情報は [Vendor Description] フィールドに表示されます。この 2 番目のフィールドは Cisco UCS Manager GUI にはありません。</p>

オプション	説明
[Virtual Machines] タブ	サーバでホストされている仮想マシンの詳細情報が表示されます。
[Installed Firmware] タブ	CIMC、アダプタ、その他のサーバ コンポーネントのファームウェアバージョンが表示されます。このタブを使用して、これらのコンポーネントのファームウェアをアップデートおよびアクティブ化することもできます。
[SEL Logs] タブ	サーバのシステム イベント ログが表示されます。
[VIF Paths] タブ	サーバでのアダプタの VIF パスが表示されます。
[Faults] タブ	サーバで発生した障害の概要が表示されます。任意の障害をクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[Events] タブ	サーバで発生したイベントの概要が表示されます。任意のイベントをクリックすれば、詳細情報を表示できます。
[FSM] タブ	タスクのステータスなど、サーバで実行されている現在の FSM タスクに関する詳細情報が表示されます。この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Statistics] タブ	サーバとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Temperatures] タブ	サーバのコンポーネントの温度に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。
[Power] タブ	サーバのコンポーネントの電力に関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

ステップ 5 [Navigation] ペインで、[*Server_ID*] > [Adapters] > [*Adapter_ID*] の順に展開します。

ステップ 6 [Work] ペインで、次のアダプタのコンポーネントを 1 つ以上右クリックしてナビゲータを開き、コンポーネントのステータスを表示します。

- アダプタ
- DCE インターフェイス
- HBA
- NIC

ヒント 子ノードを表示するには、テーブル内のノードを展開します。たとえば、[NIC] ノードを展開すると、その NIC で作成された各 VIF を表示できます。

10 モジュールのモニタリング

手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2** [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [IO Modules] の順に展開します。
- ステップ 3** モニタするモジュールをクリックします。
- ステップ 4** 次のタブのいずれかをクリックして、モジュールのステータスを表示します。

オプション	説明
[General] タブ	障害の概要、モジュールプロパティの概要、モジュールとそのコンポーネントの物理表示など、IOモジュールのステータスの概要が表示されます。
[Fabric Ports] タブ	I/O モジュールのすべてのファブリック ポートのステータスおよび選択されたプロパティが表示されます。
[Backplane Ports] タブ	モジュールのすべてのバックプレーン ポートのステータスおよび選択されたプロパティが表示されます。
[Faults] タブ	モジュールで発生した障害の詳細が表示されます。
[Events] タブ	モジュールで発生したイベントの詳細が表示されます。
[FSM] タブ	モジュールに関連するFSMタスクの詳細およびステータスが表示されます。この情報を使用して、これらのタスクにおけるエラーを診断できます。
[Health] タブ	モジュールのヘルス ステータスの詳細が表示されます。
[Statistics] タブ	モジュールとそのコンポーネントに関する統計情報が表示されます。これらの統計情報は図表形式で表示できます。

Crypto Card のモニタリング

ブレード サーバでの Cisco Crypto Card 管理

Cisco UCS Manager では、Cisco UCSB-B200-M4 ブレード サーバでのメザニン Crypto Card (UCSB-MEZ-INT8955) のインベントリ管理が行えます。Cisco Crypto Card の中心的な機能は、UCSブレードサーバに対して、特定のアプリケーション用のハードウェアベース暗号化機能を提供することです。

Cisco B200 M4 ブレード サーバでは、オプションとして、ホットプラグ対応の SAS、SATA ハードディスク ドライブ (HDD) またはソリッドステートドライブ (SSD) を計 2 台利用可能で、広範な IT ワークロードに適しています。Crypto Card は、ブレードサーバのスロット 2 に設置します。

Cisco UCS Manager は、ブレードサーバに設置された Crypto Card を検出すると、モデル、リビジョン、ベンダー、シリアル番号を、[Equipment] > [Chassis] > [Server_Number] > [Inventory] > [Security] サブタブに表示します。サポートされていないブレードサーバに Crypto Card を追加すると、Crypto Card の検出に失敗します。

Cisco UCS Manager は、Crypto Card のファームウェア管理をサポートしていません。

Crypto Card の挿入時または取り外し時は、詳細なディスカバリがトリガーされます。Crypto Card を他の Crypto Card、アダプタ、Fusion I/O またはパススルーカードと交換した場合、動作しているサーバでの詳細なディスカバリがトリガーされます。Crypto Card の交換については、次のようなシナリオが想定されます。

- Crypto Card を別の Crypto Card と交換する。
- Crypto Card をアダプタと交換する。
- Crypto Card を Fusion I/O と交換する。
- Crypto Card を GPU カードと交換する。
- Crypto Card をパススルーカードと交換する。
- アダプタを Crypto Card と交換する。
- ストレージメザニンを Crypto Card と交換する。
- GPU カードを Crypto Card と交換する。

Cisco UCS Manager を以前のバージョンにダウングレードする場合、クリーンアップは必要ではありません。ダウングレード後に UCS Manager をアップグレードする場合は、カードを再検出してインベントリに登録させる必要があります。Crypto Card をサポートしていないサーバでも、検出は中断されずに続行されます。

Crypto Card の検出、関連付け、関連付け解除、および解放は、Cisco UCS Manager で処理されません。

Crypto Card のプロパティの表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインで [Inventory] タブをクリックし、[Security] サブタブをクリックします。

名前	説明
[ID] フィールド	
[Slot ID] フィールド	メザニンカードが設置されているスロット ID を指定します。
[Magma Expander Slot Id] フィールド	PCI スロットの ID 番号を指定します。
[Is Supported] フィールド	カードがサポートされているかどうかを指定します。
[Vendor] フィールド	カードのベンダーを指定します。
[Model] フィールド	カードのモデル番号を指定します。
[Serial] フィールド	カードのシリアル番号を指定します。
[Firmware Version] フィールド	Crypto Card のシリアル番号を指定します。

NVMe PCIe SSD デバイスのモニタリング

NVMe PCIe SSD ストレージ デバイス インベントリ

Cisco UCS Manager GUI は、Non-Volatile Memory Express (NVMe) Peripheral Component Interconnect Express (PCIe) SSD ストレージデバイスのインベントリを検出、識別、および表示します。サーバ内のストレージデバイスの状態を表示できます。NVMe 対応 PCIe SSD ストレージデバイスは、SAS または SATA の SSD と比較して、遅延を短縮し、1 秒あたりの入出力操作数 (IOPS) を増加させ、電力消費を削減できます。

NVMe PCIe SSD ストレージ インベントリの表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] > [Server Number] の順に展開します。
- ステップ 3 [Inventory] タブをクリックします。
- ステップ 4 次のいずれかを実行します。
- [Storage] タブをクリックします。
[Storage Controller NVME ID number] という名前の NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスの一覧が表示されます。名前、サイズ、シリアル番号、動作ステータス、状態、その他の詳細を表示できます。
 - NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスをクリックします。
次のインベントリの詳細が表示されます。

名前	説明
[ID] フィールド	サーバで設定されている NVMe PCIe SSD ストレージ デバイス。
[Model] フィールド	NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスのモデル。
[Revision] フィールド	NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスのリビジョン。
[RAID Support] フィールド	NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスが RAID 対応かどうかを示されます。
[OOB Interface Support] フィールド	NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスがアウトオブバンド管理をサポートしているかどうかを示します。
[PCIe Address] フィールド	仮想インターフェイスカード (VIC) 上の NVMe PCIe SSD ストレージ デバイス。
[Number of Local Disks] フィールド	NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスに含まれているディスク数。

名前	説明
[Rebuild Rate] フィールド	ディスク障害発生時のストレージ デバイスの RAID 再構築の所要時間。
[Vendor] フィールド	NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスを製造したベンダー。
PID	NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスの製品 ID（製品名、モデル名、製品番号とも呼ばれます）。
シリアル (Serial)	ストレージ デバイスのシリアル番号。

ヘルス モニタリング

ファブリックインターコネクットのメモリ不足統計情報および修正可能なパリティ エラーのモニタリング

Cisco UCS ファブリック インターコネク ト システムの統計情報と障害をモニタできるため、次のようなシステムの全体的な完全性を管理できます。

- カーネル メモリ不足：これは Linux カーネルが直接対処するセグメントです。Cisco UCS Manager は、カーネルのメモリが 100 MB を下回った場合に、ファブリック インターコネク トで重大な障害を生成します。[ファブリック インターコネク トのメモリ不足障害のモニタリング, \(14 ページ\)](#) を参照してください。メモリ不足しきい値に到達すると、KernelMemFree と KernelMemTotal の 2 つの統計情報アラームが出されます。KernelMemFree および KernelMemTotal 統計情報は、ユーザが独自のしきい値を定義できるシステム統計情報のしきい値ポリシーに追加されます。

メモリ不足の障害については、次の Cisco UCS ファブリック インターコネク トでサポートされています。

- UCS 6248-UP
- UCS 6296-UP
- UCS Mini

- UCS-FI-6332
- UCS-FI-6332-16UP

- [Correctable Parity Errors] : (UCS 6300 ファブリック インターコネクットの場合のみ) これらのエラーをシステムで収集し、報告するには、[Statistics]>[sysstats]>[CorrectableParityError]の順に選択します。
- 修正不可能なパリティ エラー (UCS 6300 ファブリック インターコネクットのみ) : これらのエラーは [Faults] タブでファブリック インターコネクットの重大な障害を生成して、CallHome をトリガーします。これらの重大な障害では、ファブリック インターコネクットのレポートが必要になる場合があります。 [ファブリック インターコネクットの修正不可能なパリティ エラーによる重大な障害のモニタリング, \(15 ページ\)](#) を参照してください。

ファブリック インターコネクットのメモリ不足および修正可能なメモリに関する統計情報の表示法 :

手順

-
- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2** [Equipment]>[Fabric Interconnects]>[Fabric_Interconnect_Name] の順に展開します。
- ステップ 3** [Work] ペインで [Statistics] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Statistics] タブで [sysstats] ノードを展開して、ファブリック インターコネクットのメモリ不足および修正可能なパリティ エラーに関する統計情報をモニタします。
- 重大な障害は、カーネルの空きメモリ (KernelMemFree) が 100 MB を下回ると発生します。修正不可能なパリティ エラーが発生した場合も、システムは重大な障害を生成します。
-

ファブリック インターコネクットのメモリ不足障害のモニタリング

Cisco UCS Manager システムは、カーネルの空きメモリが 100 MB を下回った場合に、ファブリック インターコネクットで高い重大度の障害を生成します。

メモリ不足の障害については、次の Cisco UCS ファブリック インターコネクットでサポートされています。

- UCS 6248-UP
- UCS 6296-UP
- UCS Mini
- UCS-FI-6332
- UCS-FI-6332-16UP

ファブリック インターコネクットのメモリ不足障害を表示するには :

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインで、[Faults] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Faults] タブで、次のように説明されている高い重大度の障害を探します：*Fabric Interconnect_Name kernel low memory free reached critical level: ## (MB)*
-

ファブリック インターコネクットの修正不可能なパリティ エラーによる重大な障害のモニタリング

修正不可能なパリティ エラーの発生は、[Faults] タブにあるファブリック インターコネクットに重大な障害を生成して、Call Home をトリガーします。重大な障害は、ファブリック インターコネクットのレポートを必要とする場合があります。



(注) これは、UCS 6300 ファブリック インターコネクットにのみ適用されます。

修正不可能なパリティ エラーの障害の監視法：

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric_Interconnect_Name*] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインで、[Faults] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Faults] タブで、次のように説明されている高い重大度の障害を探します：*SER, Uncorrectable Error: Unrecoverable error found, maybe some corrupted file system.Reboot FI for recovery.*
 - ステップ 5 ファブリック インターコネクットをリブートします。
-

ブレードサーバとラックマウントサーバでの CIMC メモリ使用率のモニタリング

Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、ブレードサーバとラックマウントサーバについて、次のメモリ使用量イベントを報告します。

- メモリが 1 MB を下回り、メモリ使用量が致命的と CIMC が判断。リセットが差し迫った状況。
- メモリが 5 MB を下回り、メモリ使用量が過度に高いと CIMC が判断。
- メモリが 10 MB を下回り、メモリ使用量が高いと CIMC が判断。

CIMC のメモリ使用量イベントの表示法：

手順

次のいずれかを実行します。

• ブレード サーバの場合：

- 1 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] を展開します。
- 2 [Server_Number] をクリックします。
- 3 [Work] ペインで、[Health] タブをクリックします。

• ラックマウント サーバの場合：

- 1 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Rack-Mounts] > [Servers] の順に展開します。
- 2 [Server_Number] をクリックします。
- 3 [Work] ペインで、[Health] タブをクリックします。

CIMC が 2 つのヘルスイベントを報告し、その一方の重大度が高くもう一方の重大度が低い場合、システムは高い重大度の障害を 1 つ生成して、[Health] タブの [Management Services] サブタブに詳細を表示します。個々のヘルスイベントは個別の障害に変換されません。最も高い重大度のヘルスイベントが 1 つの障害に変換されます。障害は [Server_Number] > [Faults] タブに表示されます。

入出力モジュールでの CMC メモリ使用率のモニタリング

Cisco Chassis Management Controller (CMC) は、IOM およびシャーシについてメモリ使用量イベントを報告します。

システムは、報告されたヘルス ステータスを集約して 1 つの障害を生成します。

CMC のメモリ使用量イベントの表示方法：

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [IO Modules] の順に展開します。
 - ステップ 3 [IO Module_Number] をクリックします。

[Health] タブの [Management Services] サブタブが表示されます。

個々のイベントは個別の障害に変換されません。最も高い重大度のイベントが障害に変換されません。障害は [IO Module_Number] > [Faults] タブに表示されます。

FEX 統計情報のモニタリング

Cisco UCS Manager は、System Stats に集計された次の Cisco ファブリック エクステンダ (FEX) に関する統計情報を報告します。

- 負荷
- 使用可能なメモリ
- キャッシュされたメモリ
- カーネル
- メモリ合計
- カーネル メモリの空き容量

Cisco 2200 シリーズおよび 2300 シリーズ FEX は、統計情報モニタリングをサポートしています。



(注) Cisco UCS ミニ プラットフォームでは、FEX 統計情報はサポートされていません。

すべての FEX 統計は FexSystemStats として、ユーザ独自のしきい値を定義できるしきい値ポリシーに追加されます。

手順

- ステップ 1** [Equipment] タブで [Equipment] > [Rack Mounts] > [FEX] > [FEX Number] の順に展開します。[Statistics] タブが表示されます。統計情報は図表形式で表示できます。
- ステップ 2** [sys-stats] ノードを展開して、FEX 統計情報をモニタします。

管理インターフェイス モニタリング ポリシー

管理インターフェイスモニタリングポリシーでは、ファブリック インターコネクタの mgmt0 イーサネット インターフェイスをモニタする方法を定義します。Cisco UCS Manager によって管理インターフェイスの障害が検出されると、障害レポートが生成されます。障害レポートの数が設定

された数に達した場合、システムは管理インターフェイスが使用不能であると見なし、障害を生成します。デフォルトでは、管理インターフェイス モニタリング ポリシーは有効です。

その時点で管理インスタンスであるファブリック インターコネクットの管理インターフェイスに障害が発生した場合、Cisco UCS Manager はまず、下位のファブリック インターコネクットがアップ状態であるかどうかを確認します。さらに、ファブリック インターコネクットに対して記録されている障害レポートがその時点でない場合、Cisco UCS Manager はエンドポイントの管理インスタンスを変更します。

影響を受けるファブリック インターコネクットがハイアベイラビリティ設定でプライマリに設定されている場合、管理プレーンのフェールオーバーがトリガーされます。このフェールオーバーはデータプレーンに影響しません。管理インターフェイスのモニタリングに関連している次のプロパティを設定できます。

- 管理インターフェイスのモニタに使用されるメカニズムのタイプ。
- 管理インターフェイスのステータスがモニタされる間隔。
- 管理が使用できないと判断し障害メッセージを生成する前にシステムの失敗を許容するモニタリングの最大試行回数。



重要 ファブリック インターコネクットの管理インターフェイスに障害が発生した場合、次のいずれかが発生したときは、管理インスタンスを変えないことがあります。

- 従属ファブリック インターコネクット経由のエンドポイントへのパスが存在しない。
- 従属ファブリック インターコネクットの管理インターフェイスが失敗した。
- 従属ファブリック インターコネクット経由のエンドポイントへのパスが失敗した。

管理インターフェイス モニタリング ポリシーの設定

手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Admin] をクリックします。
- ステップ 2** [All] > [Communication Management] の順に展開します。
- ステップ 3** [Management Interfaces] をクリックします。
- ステップ 4** [Work] ペインで、[Management Interfaces Monitoring Policy] タブをクリックします。
- ステップ 5** 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Admin Status] フィールド	モニタリングポリシーを管理インターフェイスに対して有効にするか無効にするかを示します。

名前	説明
[Poll Interval] フィールド	データ記録の間に Cisco UCS が待機する秒数。 90 ～ 300 の整数を入力します。
[Max Report Fail Count] フィールド	Cisco UCS が管理インターフェイスを使用できないと判断し、障害メッセージを生成するまでのモニタリングの最大失敗回数。 2 ～ 5 の整数を入力します。
[Monitoring Mechanism] フィールド	Cisco UCS で使用するモニタリングのタイプ。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • MII Status : Cisco UCS はメディア独立型インターフェイス (MII) のアベイラビリティをモニタします。このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI は [Media Independent Interface Monitoring] 領域を表示します。 • Ping Arp Targets : Cisco UCS は指定されたターゲットを Address Resolution Protocol (ARP) を使用して ping します。このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI は [ARP Target Monitoring] 領域を表示します。 • [Ping Gateway] : Cisco UCS は、[Management Interfaces] タブでこの Cisco UCS ドメインに指定されたデフォルトゲートウェイアドレスを ping します。このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI は [Gateway Ping Monitoring] 領域を表示します。

ステップ 6 モニタリング メカニズムに を選択する場合、[Media Independent Interface Monitoring] 領域の次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Retry Interval] フィールド	前の試行が失敗した場合に、MII から別の応答を要求するまでに Cisco UCS が待機する秒数。 3 ～ 10 の範囲の整数を入力します。
[Max Retry Count] フィールド	システムがインターフェイスを使用できないと判断するまでに Cisco UCS が MII をポーリングする回数。 1 ～ 3 の整数を入力します。

ステップ 7 モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域の該当するタブのフィールドに入力します。IPv4 アドレスを使用している場合は、[IPv4] サブタブの次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Target IP 1] フィールド	Cisco UCS が ping する最初の IPv4 アドレス。
[Target IP 2] フィールド	Cisco UCS が ping する 2 番目の IPv4 アドレス。
[Target IP 3] フィールド	Cisco UCS が ping する 3 番目の IPv4 アドレス。
[Number of ARP Requests] フィールド	Cisco UCS がターゲット IP アドレスに送信する ARP 要求数。 1 ～ 5 の整数を入力します。
[Max Deadline Timeout] フィールド	システムが ARP ターゲットを使用できないと判断するまでに、 Cisco UCS が ARP ターゲットからの応答を待機する秒数。 5 ～ 15 の整数を入力します。

IPv6 アドレスを使用している場合は、[IPv6] サブタブの次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Target IP 1] フィールド	Cisco UCS が ping する最初の IPv6 アドレス。
[Target IP 2] フィールド	Cisco UCS が ping する 2 番目の IPv6 アドレス。
[Target IP 3] フィールド	Cisco UCS が ping する 3 番目の IPv6 アドレス。
[Number of ARP Requests] フィールド	Cisco UCS がターゲット IP アドレスに送信する ARP 要求数。 1 ～ 5 の整数を入力します。
[Max Deadline Timeout] フィールド	システムが ARP ターゲットを使用できないと判断するまでに、 Cisco UCS が ARP ターゲットからの応答を待機する秒数。 5 ～ 15 の整数を入力します。

IPv4 アドレスに 0.0.0.0 と入力すると、ARP ターゲットが削除されます。または IPv6 アドレスの場合は N-disc ターゲットが削除されます。

ステップ 8 モニタリング メカニズムに を選択する場合、領域 の次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Number of ping Requests] フィールド	Cisco UCS がゲートウェイを ping する回数。 1 ～ 5 の整数を入力します。

名前	説明
[Max Deadline Timeout] フィールド	Cisco UCS がアドレスを使用できないと判断するまでに、Cisco UCS がゲートウェイからの応答を待機する秒数。 5 ~ 15 の整数を入力します。

ステップ 9 [Save Changes] をクリックします。

ローカルストレージのモニタリング

Cisco UCS でのローカルストレージのモニタリングでは、ブレードまたはラック サーバに物理的に接続されているローカルストレージに関するステータス情報を提供します。これには、RAID コントローラ、物理ドライブおよびドライブ グループ、仮想ドライブ、RAID コントローラ バッテリ（バッテリー バックアップ ユニット）、Transportable Flash Module (TFM)、スーパーキャパシタ、FlexFlash コントローラおよび SD カードが含まれます。

Cisco UCS Manager は、アウトオブバンドインターフェイスを使用して LSI MegaRAID コントローラおよび FlexFlash コントローラと直接通信するため、リアルタイムの更新が可能になります。表示される情報には次のようなものがあります。

- RAID コントローラ ステータスと再構築レート。
- 物理ドライブのドライブの状態、電源状態、リンク速度、運用性およびファームウェアバージョン。
- 仮想ドライブのドライブの状態、運用性、ストリップのサイズ、アクセスポリシー、ドライブのキャッシュおよびヘルス。
- BBU の運用性、それがスーパーキャパシタまたはバッテリーであるか、および TFM に関する情報。

LSI ストレージ コントローラは、スーパーキャパシタを備えた Transportable Flash Module (TFM) を使用して RAID キャッシュ保護を提供します。

- SD カードおよび FlexFlash コントローラに関する情報（RAID のヘルスおよび RAID の状態、カードヘルスおよび運用性を含む）。
- 再構築、初期化、再学習などストレージ コンポーネント上で実行している操作の情報。



(注) CIMC のリブートまたはビルドのアップグレード後は、ストレージ コンポーネント上で実行している操作のステータス、開始時刻および終了時刻が正しく表示されない場合があります。

- すべてのローカルストレージコンポーネントの詳細な障害情報。



(注) すべての障害は、[Faults] タブに表示されます。

ローカルストレージ モニタリングのサポート

サポートされるモニタリングのタイプは、Cisco UCS サーバによって異なります。

ローカルストレージ モニタリングについてサポートされる Cisco UCS サーバ

Cisco UCS Manager を使用して、次のサーバについてローカルストレージコンポーネントをモニタできます。

- Cisco UCS B200 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B420 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B22 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS B200 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS B260 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS B460 M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS C460 M2 ラックサーバ
- Cisco UCS C420 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C260 M2 ラックサーバ
- Cisco UCS C240 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C220 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C24 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C22 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C220 M4 ラックサーバ
- Cisco UCS C240 M4 ラックサーバ
- Cisco UCS C460 M4 ラックサーバ
- Cisco UCS B200 M5 サーバ
- Cisco UCS B480 M5 サーバ
- Cisco UCS C220 M5 サーバ
- Cisco UCS C240 M5 サーバ

- Cisco UCS C480 M5 サーバ



(注) すべてのサーバがすべてのローカルストレージコンポーネントをサポートするわけではありません。Cisco UCS ラックサーバの場合は、マザーボードに組み込まれたオンボード SATA RAID 0/1 コントローラはサポートされません。

レガシー ディスク ドライブのモニタリングについてサポートされる Cisco UCS サーバ

レガシー ディスク ドライブ モニタリングのみが、次のサーバで Cisco UCS Manager を介しサポートされます。

- Cisco UCS B200 M1/M2 ブレードサーバ
- Cisco UCS B250 M1/M2 ブレードサーバ



(注) Cisco UCS Manager がディスク ドライブをモニタするには、1064E ストレージコントローラは、パッケージバージョンが 2.0(1) 以上の Cisco UCS バンドルに含まれるファームウェアレベルが必要です。

ローカルストレージ モニタリングの前提条件

これらの前提条件は、有益なステータス情報を提供するため行われるローカルストレージモニタリングやレガシーディスク ドライブ モニタリングの際に満たす必要があります。

- ドライブがサーバドライブベイに挿入されている必要があります。
- サーバの電源が投入されている。
- サーバが検出を完了している。
- BIOS POST の完了結果が正常である。

レガシー ディスク ドライブのモニタリング



(注) 以下の情報は、B200 M1/M2 および B250 M1/M2 ブレードサーバにのみ適用されます。

Cisco UCS のレガシー ディスク ドライブ モニタリングにより、Cisco UCS ドメイン内のサポート対象ブレードサーバについて、ブレードに搭載されているディスクドライブのステータスが Cisco UCS Manager に提供されます。ディスクドライブモニタリングは、LSI ファームウェアから Cisco UCS Manager への単方向の障害信号により、ステータス情報を提供します。

次のサーバ コンポーネントおよびファームウェア コンポーネントが、サーバ内のディスク ドライブ ステータスに関する情報の収集、送信、および集約を行います。

- 物理的なプレゼンス センサー：ディスク ドライブがサーバ ドライブ ベイに挿入されているかどうかを調べます。
- 物理的な障害センサー：ディスク ドライブの LSI ストレージ コントローラ ファームウェア からレポートされる操作可能性のステータスを調べます。
- IPMI ディスク ドライブの障害センサーおよびプレゼンス センサー：センサーの結果を Cisco UCS Manager に送信します。
- ディスク ドライブの障害 LED 制御および関連付けられた IPMI センサー：ディスク ドライブの障害 LED の状態（オンまたはオフ）を制御し、それらの状態を Cisco UCS Manager に伝えます。

フラッシュ ライフ ウェア レベル モニタリング

フラッシュ ライフ ウェア レベル モニタリングによって、ソリッドステート ドライブの寿命をモニタできます。フラッシュライフ残量の割合とフラッシュライフの状態の両方を表示できます。ウェア レベル モニタリングは次の Cisco UCS ブレードサーバのフュージョン IO メザニンカードでサポートされます。

- Cisco UCS B22 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B200 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B200 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B260 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B460 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B200 M5 サーバ
- Cisco UCS B480 M5 サーバ



(注) ウェア レベル モニタリングの必須事項は次のとおりです。

- Cisco UCS Manager がリリース 2.2(2a) 以降である。
 - フュージョン IO メザニン カードのファームウェアのバージョンが 7.1.15 以降である。
-

ローカルストレージコンポーネントのステータスの表示

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
 - ステップ 3 ローカルストレージコンポーネントのステータスを表示するサーバをクリックします。
 - ステップ 4 [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Storage] サブタブをクリックして、RAID コントローラと FlexFlash コントローラのステータスを表示します。
 - ステップ 6 下矢印をクリックして [Local Disk Configuration Policy]、[Actual Disk Configurations]、[Disks]、[Firmware] バーの順に展開し、追加のステータス情報を表示します。
(注) [Local Disk Configuration Policy] 領域と [Actual Disk Configurations] 領域に、Cisco UCS B460 ブレードサーバのマスターノードのデータのみが表示されます。スレーブノード用のフィールドは表示されません。
-

RAID 0 一貫性チェックの制限

RAID0 ボリュームでは、一貫性チェック操作はサポートされていません。一貫性チェックを実行するには、ローカルディスク設定ポリシーを変更する必要があります。詳細は『*UCS Manager Server Management Guide*』の「Server Related Policies」の章にある「Changing a Local Disk Policy」のトピックを参照してください。

グラフィックスカードのモニタリング

グラフィックスカードサーバサポート

Cisco UCS ManagerCisco UCS Managerカードやコントローラのプロパティを表示できます。グラフィックスカードは、次のサーバでサポートされています。

- Cisco UCS C240 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C460 M4 ラックサーバ
- Cisco UCS B200M4 ブレードサーバ
- Cisco UCS B200 M5 サーバ
- Cisco UCS B480 M5 サーバ

- Cisco UCS C220 M5 サーバ
- Cisco UCS C240 M5 サーバ
- Cisco UCS C480 M5 サーバ



(注) 特定の NVIDIA グラフィック処理ユニット (GPU) では、エラー訂正コード (ECC) と vGPU の組み合わせはサポートされません。シスコでは、NVIDIA が公開しているそれぞれの GPU のリリース ノートを参照して、ECC と vGPU の組み合わせがサポートされているかどうか確認することを推奨しています。

ブレードサーバでの GPU メザニンググラフィックス モジュール管理

Cisco UCS Manager では、Cisco B200 M4 ブレードサーバで使用する NVIDIA Graphics Processing Unit (GPU) メザニンググラフィックス モジュール (N16E-Q5) の、インベントリおよびファームウェア管理が行えます。GPU を利用することで、科学計算、分析、エンジニアリング、コンシューマ、企業アプリケーションでの計算処理が高速化されます。Cisco B200 M4 ブレードサーバでは、オプションとして、ホットプラグ対応の SAS、SATA ハードディスク ドライブ (HDD) またはソリッドステートドライブ (SSD) を計 2 台利用可能で、広範な IT ワークロードに適しています。

Cisco UCS Manager は、ブレードサーバ内の GPU グラフィック カードの存在を現場交換可能ユニットとして検出し、モデル、ベンダー、シリアル番号、PCI スロットとアドレス、ファームウェアなどのデバイス インベントリ情報を収集します。Cisco UCS Manager で GPU カードのインベントリを表示するには、[Equipment] > [Chassis] > [Server_Number] > [Inventory] > [GPUs] サブタブの順に展開します。

GPU カードのファームウェア管理には、ファームウェアのアップグレードおよびダウングレードが含まれます。既存の Cisco UCS Manager サービス プロファイルを使用して、GPU ファームウェアをアップグレードします。クリーンアップが必要であるため、古いバージョンのファームウェアを使用した GPU ファームウェアのダウングレードは行わないでください。

GPU カードは、ブレードサーバのスロット 2 に設置します。サポートされていないブレードサーバにカードを挿入すると、GPU カードの検出に失敗します。

GPU カードを交換すると、動作しているサーバでの詳細なディスカバリがトリガーされます。詳細なディスカバリをトリガーする GPU カードの交換シナリオは、次のように各種存在します。

- GPU カードを別の GPU カードと交換する。
- GPU カードをアダプタと交換する。
- GPU カードをストレージメザニンと交換する。
- アダプタを GPU カードと交換する。
- ストレージメザニンを GPU カードと交換する。
- GPU カードを Crypto Card と交換する。

- Crypto Card を GPU カードと交換する。

GPU グラフィックス カードの検出、関連付け、関連付け解除、および解放は、Cisco UCS Manager で処理されます。GPU グラフィックス カードを表示させるには「[グラフィックス カードのプロパティの表示](#)、(27 ページ)」を参照してください。



(注) GPU グラフィックス カードのメモリ (DIMM) には最大 1 TB の制限があります。

グラフィックス カードのプロパティの表示

手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2** 次のいずれかを実行します。
- [Equipment] > [Chassis] > [Chassis_Number] > [Servers] > [Server_Number] の順に展開します。
 - [Equipment] > [Rack-Mounts] > [Servers] > [Server_Number] の順に展開します。
- ステップ 3** [Work] ペインで [Inventory] タブをクリックし、[GPU] サブタブをクリックします。

名前	説明
[ID] フィールド	グラフィックス カードの固有識別子。
[PCI Slot] フィールド	グラフィックス カードがインストールされている PCI スロット番号。
[Expander Slot ID] フィールド	エクспанダ スロット ID。
[Is Supported] フィールド	グラフィックス カードがサポートされているかどうか。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
[Vendor] フィールド	製造元の名前。
[Model] フィールド	グラフィックス カードのモデル番号。
[Serial] フィールド	コンポーネントのシリアル番号。
[Running Version] フィールド	グラフィックス カードのファームウェア バージョン。

名前	説明
[Mode] フィールド	設定されたグラフィックスカードのモード。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • コンピューティング • グラフィック • 任意構成
部品の詳細	
[Vendor ID] フィールド	グラフィックス カードのベンダー ID。
[Sub Vendor ID] フィールド	グラフィックス カードのサブ ベンダー ID。
[Device ID] フィールド	グラフィックス カードのデバイス ID。
[Sub Device ID] フィールド	グラフィックス カードのサブ デバイス ID。

Transportable Flash Module と スーパーキャパシタの管理

LSI ストレージコントローラは、スーパーキャパシタを備えた Transportable Flash Module (TFM) を使用して RAID キャッシュ保護を提供します。Cisco UCS Manager を使用すると、これらのコンポーネントをモニタしてバッテリー バックアップユニット (BBU) の状態を決定できます。BBU の動作状態は次のいずれかになります。

- [Operable] : BBU は正常に動作しています。
- [Inoperable] : TFM または BBU が欠落している、または BBU に障害が発生しており交換する必要があります。
- [Degraded] : BBU に障害が発生すると予測されます。

TFM およびスーパーキャパシタ機能は Cisco UCS Manager リリース 2.1(2) 以降でサポートされています。

TFM とスーパーキャパシタの注意事項および制約事項

TFM とスーパーキャパシタの制約事項

- Cisco UCS B420 M3 ブレードサーバの TFM およびスーパーキャパシタの CIMC センサーは、Cisco UCS Manager によってポーリングされません。
- TFM およびスーパーキャパシタが Cisco UCS B420 M3 ブレードサーバに搭載されていない、または搭載後にブレードサーバから取り外した場合、障害は生成されません。
- TFM は Cisco UCS B420 M3 ブレードサーバに搭載されていないが、スーパーキャパシタが搭載されている場合、Cisco UCS Manager によって BBU システム全体が欠落していると報告されます。TFM とスーパーキャパシタの両方がブレードサーバに存在することを物理的に確認する必要があります。

TFM およびスーパーキャパシタについてサポートされる Cisco UCS サーバ

次の Cisco UCS サーバは TFM およびスーパーキャパシタをサポートしています。

- Cisco UCS B420 M3 ブレードサーバ
- Cisco UCS C22 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C24 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C220 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C240 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C420 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C460 M4 ラックサーバ
- Cisco UCS B200 M5 サーバ
- Cisco UCS B480 M5 サーバ
- Cisco UCS C220 M5 サーバ
- Cisco UCS C240 M5 サーバ
- Cisco UCS C480 M5 サーバ
- Cisco UCS C220 M3 ラックサーバ
- Cisco UCS C240 M3 ラックサーバ

RAID コントローラ統計の表示

次の手順は、PCIe/NVMe フラッシュストレージを備えたサーバの RAID コントローラ統計を表示するための方法を示しています

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] ペインで、[Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] > [Server Number] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Storage] > [Controller] > [General] サブタブをクリックしてコントローラ統計を表示します。
-

RAID バッテリ ステータスのモニタリング

この手順は、RAID 設定および TFM をサポートする Cisco UCS サーバにのみ該当します。BBU に障害が発生した場合、または障害が予測される場合には、そのユニットをできるだけ早く交換する必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] ペインで、[Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] > [Server Number] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Storage] サブタブをクリックして、[RAID Battery (BBU)] 領域を表示します。
-

RAID バッテリ障害の表示



(注) これは、RAID 設定および TFM をサポートする Cisco UCS サーバにのみ適用されます。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] ペインで、[Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] > [Server Number] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインで、[Faults] タブをクリックします。
 - ステップ 4 状態に関する詳細情報を表示するバッテリーを選択します。
-

TPM モニタリング

Cisco UCS M3 以降のすべてのブレードサーバとラックマウントサーバに信頼されたプラットフォームモジュール (TPM) が搭載されています。オペレーティングシステムでの暗号化に TPM を使用することができます。たとえば、Microsoft の BitLocker ドライブ暗号化は Cisco UCS サーバ上で TPM を使用して暗号キーを保存します。

Cisco UCS Manager では、TPM が存在しているか、有効またはアクティブになっているかどうかを含めた TPM のモニタリングが可能です。

TPM のプロパティの表示

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
 - ステップ 3 TPM 設定を表示するサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで [Inventory] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Motherboard] サブタブをクリックします。
-

